「Kids Loco Project第3回研修会・Carry Loco Multiワークショップのご案内

共催　Kids Loco Project，日本臨床発達心理士会滋賀支部

後援　滋賀県立大学人間文化学部人間関係学科生涯発達支援研究センター

滋賀県立大学子育ち応援ラボ「うみかぜ」

滋賀県立大学工学部機械システム工学科メカトロニクス研究分野

「Kids Loco Project」では，身体に不自由にある子どもたちが自らの意思で動くことの支援に寄与する目的で，びわこ学園医療福祉センター草津と滋賀県立大学工学部が中心に2007年より活動を開始して参りました．子どもたちの未来にはAssistive deviceとPower mobilityの充実は最も優先されなければならない課題であります．この度，内外から3名の講師の方々をお招きして発達における動くことの重要性をご講演頂く事になりました．また指定討論者として2名の先生をお招きしております．日常携わっている子どもたちの発達支援に還元できるよう討論したいと考えております．皆様方のご参加をお待ちしております．（当日は同時通訳があります. ）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

日　時： 2016年11月3日（木，祝日）12 ：00－17：00

4日（金）　　　 9：00－15：00

3日

講演Ⅰ：12:00 ～ 13:00

講演タイトル：仮タイトル「発達において動くことの重要性」

講師 小西 行郎（同志社大学 赤ちゃん学研究センター教授，日本赤ちゃん学会理事長）

講演Ⅱ：13:10～15:10

　講演タイトル：（調整中）

講師Dr. Cole Galloway　(Professor, Associate Chair,

Department of Physical Therapy, University of Delaware)

http://www.udel.edu/PT/About%20Us/People/galloway.html)

http://www.upworthy.com/how-a-system-of-ropes-and-pulleys-

Andrina Sabet (PT, ATP)　（予定）

Cleveland Clinic Children’s Hospital for Rehabilitation

RESNA as the chair of the Wheeled Mobility SIG

講演Ⅱの質疑応答 15:10-15:30

　指定討論　15:50～16:30

　　繁成剛（東洋大学教授　日本リハビリテーション工学協会会長）

　　竹下秀子（滋賀県立大学教授）

　全体質疑　16:30～17:00

4日　講演および製作：

講師 びわこ学園医療福祉センター草津　リハ課　PT　高塩純一

MultilocomotorからCarry Loco Multiへ支援の輪を拡げよう（30分）

製作：滋賀県立大学工学部　教授　安田寿彦　および　プロジェクトスタッフ

会場： 滋賀県立大学滋賀県立大学 交流センター（〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500）

内容：　Power mobility に関しての講演，

Carry Loco（介助用バギーなどを電動化するユニット）の製作

対象者： PT、OT 等で幼児期の支援に携わっている関係者，家族，学生，研究者

( 尚，Carry Loco Multi製作は1施設１台に限ります．)

受講費：講演と製作2日間：　168,000円　(Carry Locoの部品は全て含んでおります．)

11月3日の講演：　一般　3,000円，　家族および学生　1000円．

※3日に参加の方は4日の参加は無料です．4日のみの見学参加 は1,000円

※　応募開始は、5月23日19：00～です。下記のリンクから申し込みをお願いいたします．

「 Carry Loco Multiワークショップ」のイベントページのURLは下記になります．

http://kokucheese.com/event/index/399560/

「Kids Loco Project第3回研修会」のイベントページのURLは下記になります．

http://kokucheese.com/event/index/399568/

お問い合わせ： TEL 077-566-0709　(リハ課　直通　17:30以降でお願いします)

　　　　　　　　E-mail : junichitakashio@gmail.com

びわこ学園医療福祉センター草津 リハ課 PT高塩純一　まで